



# NZ酪農研修



## 女性が活躍できる畜産 ワークライフバランス

### 疑問

- ・女性は男性よりも体力や筋力が低く、力仕事に向いていない？
- ・家事や育児の負担が多いが、時間の自由がきかない仕事は大丈夫なの？

### 調査

- ・男性、女性それぞれの役割やその差
- ・女性は弱点や難点をどのようにカバーしているのか
- ・女性だからこそ活躍できるという強みはあるのか

### 結果

NZでは...

- ★ 男性も女性も自分自身の強みを活かせる環境、文化がある。
  - ↳ 男女平等、公平という国民意識が根付いている
  - ↳ お互いの強みを活かし、役割分担 (効率↑)
- ★ 酪農を「仕事」から「ライフスタイル、生活の一部」として捉えている。
  - ↳ この生活を楽しんでいた
  - ↳ 子どもたちは小さい頃から自分たちができる手伝いをしていた

### 女性の強み

- マルチタスクができる！
- 綺麗好きな人が多い！
- 周りを見るかに優れている！
- 母性があり、分娩や搾乳、仔牛の世話が上手にできる！

日本の畜産業においても、

この **強み** を

**最大限** に発揮することが大切

### まとめ 畜産業活性化には 女性の強み が必要不可欠！

NZで「女性の活躍できる畜産」をテーマに調査を進め、頭に浮かんだのは「日本って窮屈...」でした。日本は女性の地位が低く、「女性力活用が遅れている国」というイメージがあります。しかしここで女性が弱気になるのではなく、自分の意志を強く持ち、「女性だからこそ！」といった視点や感性を活かしていくべきです。女性の強みを発揮することで、畜産業の活性化が望めると思います。